

みぬま見聞館だより No.51

平成31年3月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

右の写真は、セグロセキレイです。昔からいたのはセグロセキレイでしたが、近年個体数が減っています。よく、庭園に遊びに来て元気にさえずっています。

この冬は、毎年庭園を訪れるホオジロ、アオジ、カシラダカをほとんど見かけることができませんでした。隣接する放流口に渡ってくるカモ達の種類も少なく感じられました。逆にオオバンの数が多さが目につきました。



セグロセキレイ

ヒマラヤスギ・・・実の落ちた先端はまるでバラの花



①ヒマラヤスギの樹形

インドヒマラヤの原産で、明治の初期（1870年頃）に渡来した常緑の高木で、現在公園や学校の校庭に幅広く植えられています。①枝が水平から下向きに広がって、円錐形の美しい樹形となります。②球果は枝上に直立し、楕円形をしていて長さ10cm位、表面はなめらかで、緑がかかった灰褐色をしています。③種鱗は広い扇型三角形で平たくなめらかです。

④中軸から落



⑥ヒマラヤスギの球果の先端

ちやすく⑤種子に翼があります。⑥落ちた先端部分は、写真のように、まるでバラの花のようです（俗にシダーローズと呼ばれています）。日本名は、ヒマラヤ産のスギという意味で、これは葉の形がスギの葉に似ているからだそうです。

* 牧野新日本植物図鑑より

マツ科ヒマラヤスギ属の植物です。



②ヒマラヤスギの球果



④球果の中軸



球果のヘタ



上:③種鱗 下:⑤種子

フジ（藤）の実で・・・はっと！



左の写真は、5月の花の後にフジの木になった実です。秋に採取して、見聞館受付脇のテーブルに置いていたところ。玄関に誰もいないのに、何か影が横切りました。見に行くと、床にフジの実のサヤが捻じれて落ちていました。どうやらサヤがはじけたようです。時期になると、実のサヤが捻れて、中の実を数メートル飛ばすようです。是非、皆さんも体験

してください。きっと驚くと思います。



えっ！オンブバッタ・・・



写真は、一見オンブバッタと思いシャッターを押してよく観察すると、何と！トノサマバッタでした。上下で色と大きさが違います。上の枯草色の小さい方がオスで、下の緑色で大きい方がメスです。色は、個体によって違います。

モズのはやにえ



団体見学にきていた芝川小学校2年生の児童が木の枝に刺さったカナブンの幼虫らしきものをみつけたのが、今年度モズの『はやにえ』発見第1号でした。その後、探しましたがなかなか見つからず倉庫の脇の鉢植えのムクノキの枝に、カナヘビを刺してあったところをやっと見つけました。

*『はやにえ』とは、鳥のモズの習性で、バッタやガ、魚などを木の枝に刺して置くことです。

今年も池のかいほりを行いました



1月16日と29日に、職場体験学習の生徒さんと自然庭園の手前の池と今年度は、さらに奥の池の掻い掘りも行いました。昨年同様①又ママツ、その他外来種の②体長1m位のコイ、ミドリガメ、③ウシガエルのオタマジャクシ等を発見し駆除しました。



今回は、庭園内で早春を告げる野草について、いくつか述べたいと思います。

下記に紹介する3種類の野草は、暖かい日だまりでは冬の間から咲いていることがありますが、3月を過ぎた頃からが本来咲き始める、早春を告げる野草たちです。

①〔オオイヌノフグリ〕

以前の分類ではゴマノハグサ科でしたが、最近のAPG分類体系ではオオバコ科になっています。

「星の瞳」という別名があるように、そのルリ色の花は野草とは思えない美しい輝きがあります。

②〔ホトケノザ〕

丸い花を囲む葉の様子を仏様の座する蓮華座に見立ててこの名があります。

紅紫色の花はシソ科特有の唇形花で上唇と下唇に分かれています。下唇にはハチへの標識となる美しい模様が描かれています。

③〔ヒメオドリコソウ〕

ホトケノザと同じシソ科で、花のつくりも唇形花でよく似ています。花のつくあたりの葉が紫色がかっていて、その葉の下にピンクの花をつけますが、その様子が菅笠を被って踊る踊り子のように見えることからヒメオドリコソウの名があります。よく似たオドリコソウより小さいのでヒメがつけられました。

上記の3種の野草は暖かい日だまりでは冬の間から咲いていることがありますが、3月を過ぎた頃からが本来咲きはじめる早春を告げる野草たちです。他にも④フキや樹木の⑤ネコヤナギなど早春を象徴する花が庭園内に見られます。



①オオイヌノフグリ



②ホトケノザ



③ヒメオドリコソウ



④フキ (雄花)



④フキ (雌花)



⑤ネコヤナギ

＊浅嶋先生は、以前草加市立栄中学校で理科を担当されていました。

幼稚園・保育園で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。写真は武蔵浦和保育園、上大久保保育園、常盤保育園、与野ひなどり保育園、子育て支援センター浦和で行った時の写真です。その他、保育者新入職員研修を行いました。講座の内容は相談に応じます。是非、ご利用ください。



武蔵浦和保育園



上大久保保育園



常盤保育園



与野ひなどり
保育園



子育て支援センター
浦和



保育者研修

未来くるワーク体験が行われました



木崎中学校



大原中学校・第二東中学校

1月16日～18日木崎中学校、1月29日～31日大原中学校・第二東中学校の未来くるワーク体験を行いました。それぞれ、みぬま見聞館の開館作業、庭園のツルの剪定、掻い掘り等を体験しました。

団体見学がありました！／土曜チャレンジスクールを行いました！



① 昆虫の切り紙



② 広場で虫探し



③ 工場見学



④ 野鳥観察

- ① 11月8日 白菊保育園が遠足に訪れました。
- ② 11月22日 片柳保育園が遠足に訪れました。
- ③ 11月2日 芝川小学校2年生が団体見学に訪れました。
- ④ 2月2日 芝川小学校の土曜チャレンジスクールを行いました。

お知らせ ・ 4月21日(日)春の自然観察・環境学習会が行われます。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

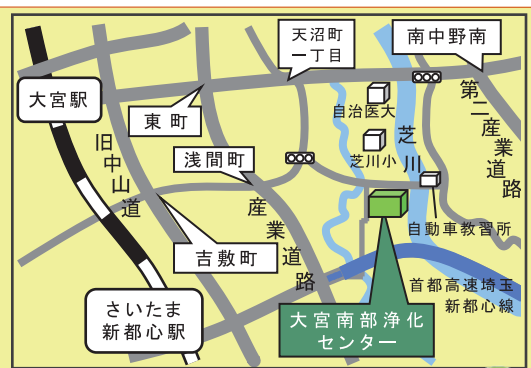
開館時間 9:00～17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 FAX 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数6,300部 単価12.4円

